

恩師の

近況

名 古 屋 学 院
大 学 に 赴 任 し た 年
古 屋 学 院

○ 年) から 早

くも一七年間が 過ぎようとしてい
る。赴任したときにはまだまだ青年期だっ
た筆者も、いつのまにか天王寺の変の折の
織田信長とはほぼ同じ年齢になってしまっ
た。「人生五〇年」のその年に

経済学部教授 生越達美先生より

あと数年を数えるしかない。こ
の一七年間、沢山の卒業生を送
り出したし、仕事も少しはする
ことができたと思う。しかし満
足感が十分にあるか、と問われ
ると、たちまち答えに窮してし
まいそうである。無駄なことも
沢山してきた。しかし、後悔の
念は不思議に起きてこない。こ
の二〇年間に世界も、日本も大
きく変わってきている。学生諸
君の気質の上の変貌にも、大き
なものがある。欠点も目につく
が、良い点 も豊か

春

に育っている。青
の輝きという
ものはダイヤ
モンドの輝き
へと、磨きあ
げていって欲
しいと願う今日
この頃である。



1993年度入試結果

八六年度から七年前続いた受験人口増のピークを超えた九三年度入試では、本学の総志願者数は九、五三六名となり、前年比三〇パーセントの減少となりました。

学部別では、全国的に経済・商・経営系の志願者減が予測されたなか、本学経済学部の一般入試は前年比二三パーセント減の結果となり、商学部においては前年の大幅志願者増の反動により、実に五〇パーセント減という大変動の様相を示しました。

一方、外国語学部の一般入試は、志願者数において英米語で二二パーセント減、中国語で二六パーセント増の対照的な結果となりました。英米語では受験生のレベルアップがつついたことへの反動が二年連続の志願者減に現われ、逆に中国語においては一時冷えていた中国に対するイメージが回復基調にあること、また今年より大阪、東京に試験場を開設したことが増加原因にあげられます。

なお、一般試験の競争倍率は、経済学部四・六倍、商学部四・四倍、外国語学部の英米語が三・九倍、中国語五・四倍という結果になりました。

1994年度入試要項

●募集定員

学部	学科	定員
経済学部	経済学科	450名
商学部	商学科	300名
外国語学部	英米語学科	150名
	中国語学科	50名

●一般推薦試験

学部	学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日
経済	経済	11月4日(木)～ 11月7日(水)	11月27日 (土)	本学	12月7日 (火)
商	商				

●一般試験

学部	学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日
経済	経済	1月8日(土)～ 1月24日(月)	2月1日(火)	本学、浜松、津、金沢、 岡山、福岡、東京、大 阪、豊橋、	2月15日(火)
商	商		2月2日(水)		
外国語	英米語		2月4日(金)	本学、浜松、津、金沢、 岡山、福岡、東京、大阪	2月16日(水)
	中国語		2月5日(土)		

詳細については入試課へお問い合わせ下さい。☎0561-42-0339